

## 積み木の世界 R4.6.9



絵本の挿絵を見ながら作り始めた G くん。  
「これは手」「ここは顔だよ」と言いながら  
怪獣を作っていました。  
挿絵を元に頭の中にイメージが広がって  
いく、世界にどっぷり浸かっています。



2人はなにを作っているのかな？  
一緒に作っていたものが崩れてしまった  
瞬間の表情。イメージが共有できているから  
こそ、何があっても楽しい、もっとやっ  
てみよう！という気持ちが生まれます。

絵本「つみきで とんとん」を見てから、積み木の世界  
に興味津々な子ども達。  
クラスで積み木の輪が広がっていきました。

最初は1人、2人から始めて…  
「もっと作りたい」「積み木でトンネル作ってみよう！」  
と広がる、広がる・・・！



絵本を通してイメージを共有し、積み  
木の世界を広げていた子ども達。  
自然と役割ができ、友だち同士で「こ  
こ手伝って」「こっちは任せて！」と話  
していました。  
子ども達の世界を見守ると、新たな関  
係性が生まれ輪が広がっていくのが分  
かります。  
これからも子ども達の世界を成長と共  
に見守っていきたいですね。